

3 糖尿病神経障害

- 糖尿病神経障害 (多発性神経障害) : 両下肢のしびれ, 疼痛, 感覚低下, 感覚異常などの末梢神経症状とアキレス腱反射の消失. 脊椎疾患, 脳血管障害, 下肢の循環障害との鑑別を要する.
- 自律神経障害 : 起立性低血圧, 胃無力症, 便通異常, 無力性膀胱, 無自覚性低血糖, 無痛性心筋虚血 (突然死の原因となる), 勃起障害 (ED) など
- その他 : 単一神経障害 (外眼筋麻痺や顔面神経麻痺) など
- 多発性神経障害に対しては, アルドース還元酵素阻害薬, ビタミンB₁₂, 疼痛に対してはさらに非ステロイド系消炎鎮痛薬, 抗不整脈薬 (メキシレチン), 抗うつ薬等を用いるが, 症状の軽減が難しいことも多い.
- EDの薬物治療の際には, 虚血性心疾患 (糖尿病では無痛性のことがある) の有無を必ず確認する.

4 糖尿病足病変

- 神経障害, 血管障害, 外傷, 感染症などが複雑に関与して, 下肢に潰瘍や壊疽が生ずる.
- 原因や悪化には神経障害による感覚鈍麻が関与していることが多い.
- 日常生活における, 熱傷, 外傷, 胼胝, 靴ずれ等の予防および早期発見・早期治療が重要である.
- 足をよく観察し, 常に清潔にして, 異常があればすぐに受診するように指導する.
- 爪の変形や白癬菌感染, 潰瘍は, 皮膚科をはじめとする専門医での治療が望ましい.

